

みなさんの願い

今度は寺内だいい作さんへ

板倉真也市議から バトンタッチ



7期・28年の長きにわたり、たいへんお世話になりました。コロナ禍のもと、人との絆がいつそう重みを増すとともに、市政のあり方、社会のあり方が問われる時代を迎えています。寺内だいい作さんは、苦労を重ねてきた自身の体験から、弱者を痛めつける社会の仕組みを変え、誰もがまっとうに暮らせる世の中に改めるべきとの思いから決意されました。後継者として、立派に活動していただける若者です。

私も引き続き、暮らし・営業を支えるために頑張つてまいります。そして、寺内だいい作さんを押し上げるために、全力でがんばります。

板倉真也

今度は自分が

困っている人の役にたきたい

とりわけコロナで困っている人をすぐに

板倉真也市議からバトンタッチ



33歳

てらうち・大さく

小金井市議予定候補

寺内だいい作

仕事や学業でうまくいなくても自己責任だとされ、生産性や利益の有無で人がはかられる——生きづらさを抱えた若い世代。私はまさに、その一人でした。その私に日本共産党から「市政へ挑戦」の要請が…悩みました。でも人一倍困難をかかえ、痛みを感じた自分だからこそ、困っている人に寄り添えるのでは…、と思い決断しました。市政改革に全力あげます。

プロフィール●1987年秋田生まれ、秋田育ち。私立大学法学部に入學するも経済的理由で学業断念。ビル管理や清掃などの会社勤務。現在、日本共産党小金井市議団事務局員

日本共産党

一人ひとりの思いを 市政に届けます

- 国民健康保険税の負担軽減をすすめます
- 学校トイレの洋式便器化率向上をスピードアップ
- 利用しやすいココバスなど地域交通網の発展を
- ハケと緑を破壊する道路計画ストップ



寺内だいい作さんに期待します

自治会役員だったときに板倉さんには大変お世話になりました。板倉さんの後継者の寺内さんに期待します。

——元自治会役員 羽生幸芳さん

地域のために一生懸命に取り組んでくれた板倉市議の後継者として、ぜひがんばってほしいです。

——貫井南町3 鈴木夏江さん

自宅を含めた地域で、「都市計画道路」の建設計画がすすめられようとしており、大変不安です。地元の声を大事にする寺内さんに期待します。

——前原町 黒坂美智子さん

ココバスの運賃値上げなどが計画されていると聞いて不安です。安心して出歩けるよう、地域のためにがんばろうとする寺内さんに期待します。

——貫井南町4 若藤好子さん



2021年1・2月号外 ●日本共産党小金井市委員会の見解を紹介します。困ったこと、ぜひご相談を 042-384-7891 発行：しんぶん小金井社 東町4-27-4 若木方 ☎042-381-0779 メール：info.jcp.ktc@tune.ocn.ne.jp

家計、学業、仕事の困難…

必死でがんばるも

ずっと感じてきた生きづらさ



寺内さんが生まれたのは秋田県、雪深い所です。寺内さんは、家庭や学校の生活で、なかなかうまくゆかないこともあり、自己肯定感もありませんでした。大学に入学するも家計の急変で学業継続を断念。「家計を助けな

ければ」との思いでさまざまな仕事につきました。ようやく正社員となれたものの、会社が勝手に契約社員にしてしまった時は、「理不尽だ」と思いながらも、声をあげる事ができませんでした。

衝撃を受けた「出会い」

困っている人のために必死に がんばる人たちがいる

そうした中で、寺内さんは、「生活と健康を守る会」と出会いました。高い住民税が払えなくて困った時、生活相談を知らせるチラシが入っていたのです。思いきって相談に行くと、減免制度などさまざまなくらし

を守る制度を教えてくださいました。多くの人と一緒に学んでいました。見返りもなく人を助けるために必死になっている人たちがいる——衝撃でした。自分もいつか困っている人の役に…との思いがやどりました。

弱者の立場を政治に反映するために 寺内さんに期待します

—前原町3 中央大学名誉教授 金子貞吉さん

寺内さんは、弱者の立場を政治に反映する共産党の活動に共感し、自分も、世に尽くさなければと決断しました。

若く健康なので、板倉真也市議の実績を引きつぐには、もっともふさわしい人物として推薦します。

日本共産党から「ぜひ市政に」と要請

「自分もいつかは人の役に…」

底流にあつた思いが挑戦を決意

事情もあつて家族みなで東京に住むようになった寺内さん。引き続き家計を助け働きました。ときにはダブルワーク、トリプルワークも。しかし「痛みがわかるからこそ困っている人の役に…」の思いは消えず、思いきって駅で宣伝している共産党議員に声をかけました。秋田で知った「生活と健康を守る会」を小金井で立ち上げようとしているのが共産党市議だと知ったからです。

こうして日本共産党との交流がはじまりました。寺内さんは家計を支え会社で働きながらも、同僚の外国人実習生の相談にのったり、休日にも支援やアドバイスを行っていました。日本共産党はこういう寺内さんこそ、ぜひ市政に必要な人だと確信し、挑戦を要請。自分の心の深いところを流れていた「自分もいつかは困っている人の役に…」の思いが決意へと導きました。



寺内 だい作は 全力

コロナで困っている人を助ける仕事すべて

- 相談窓口や貸付、生活保護の改善
- 必要な人はだれでもPCR検査が受けられるように
- 市内飲食店等への支援強化
- 国保税などの負担減免
- 市独自の奨学金拡充

困っている人に寄り添い苦勞をいとわない人

—前原町2 小川東洋さん

困っている人に寄り添い、苦勞もいとわずがんばる寺内さん。学校トイレの洋式化、少人数学級の実現など、子どもたちのために頑張ってくれると期待しています。